

機械器具 01 手術台及び治療台
一般医療機器 汎用電動式手術台 JMDNコード：36867020

特定保守管理医療機器

テーブルスター・電動式万能手術台 TS-123 シリーズ

【警告】

1. 手術台に患者を乗せ体位変換をするときは、常に患者の状態を監視し、必要な付属品を適切に使い安全に注意を払うこと。
2. 使用電源電圧に異常がないよう適正に点検し、手術台の始業点検を欠かさず行うこと。[低電圧、電子ノイズの影響で暴走する可能性があります。]
3. 他社製の付属品を使用するとき、手術台への固定状況など確認し、正常に使用できるか注意を払うこと。[必要に応じ販売店や弊社担当者に相談して下さい。]
4. 作動中に異常な動きが起きたら手術台の主電源（脚台部のスイッチ）を切ること。[患者が落下するような危険な体位に成らない様に操作を行って下さい。]

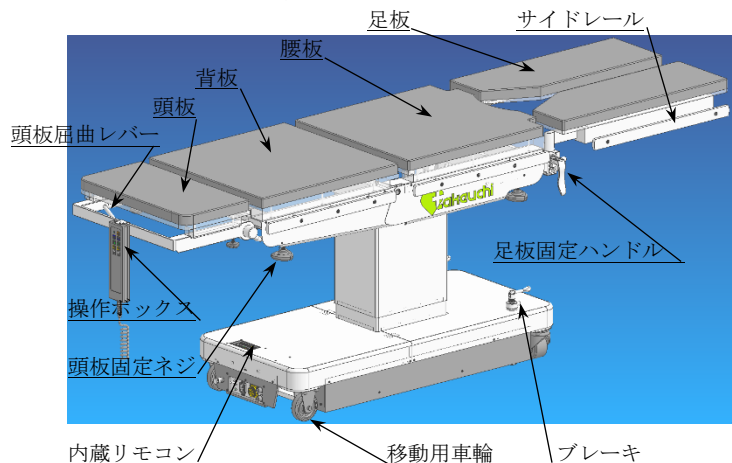
【禁忌・禁止】

1. 体重 210 kg を超えない様に使用すること。
2. 低電圧が起こるような増設配線はしないこと。
3. リモコンのコードを昇降装置の周りに巻きつくような状態で昇降させないこと。
4. 電気メスのモノポーラ用コードにリモコンのコードを接触させての使用はしないこと。
5. 電源コード・リモコンコードを無理に引っ張ったり、手術台の車輪で踏んだり、他の機器の車輪で乗り越えたりしないこと。[破損して、火災や感電事故を起こす恐れがあり、手術台が作動できなくなります。]
6. 電源コード、リモコンコードの差込口は常に清潔にして汚れた状態で使用しないこと。[ほこりや汚物が溜まると接触不良が起こり、過熱現象による火を噴くなど危険です。]
7. 手術台の昇降装置付近に付属品など置いたままにしないこと。[手術台の昇降などの作動で置いた付属品や、手術台の一部を破損します。]
8. 手術台を分解したり改造をしないこと。[不具合の原因になります。]

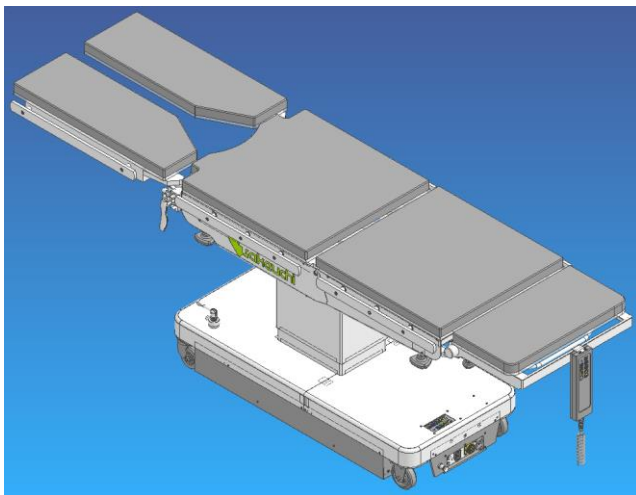
【形状・構造及び原理等】

1. 外観図

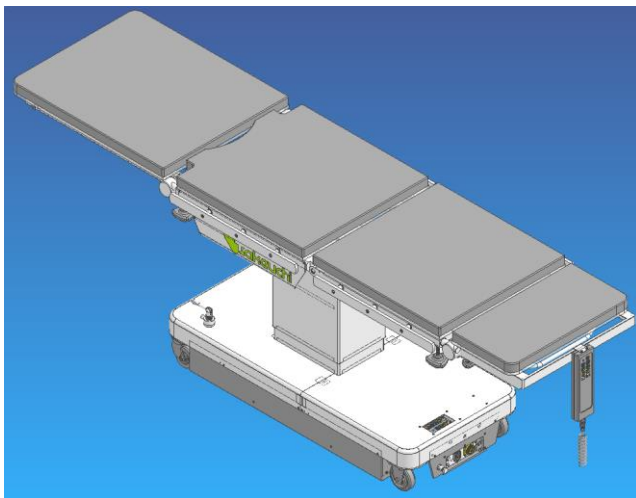
TS-103（二枚足板カセットトンネル付）



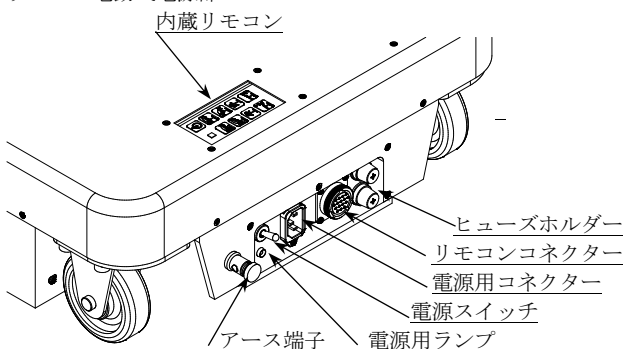
TS-102（二枚足板カセットトンネル無し）



TS-101（一枚足板カセットトンネル無し）

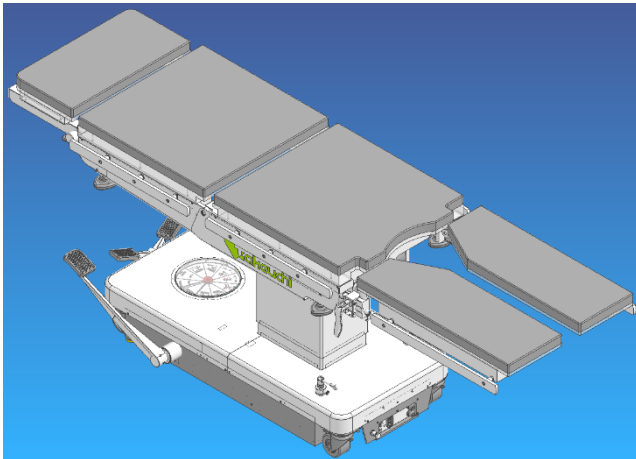


リモコン電動式電源部

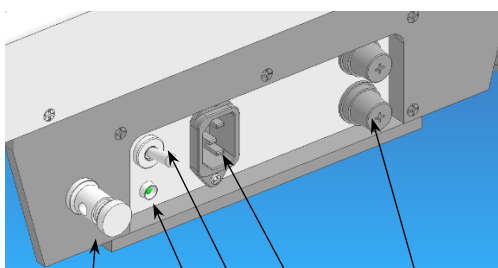


取扱説明書を必ずご参照下さい。

TS-103EP (電動・油圧両用式)

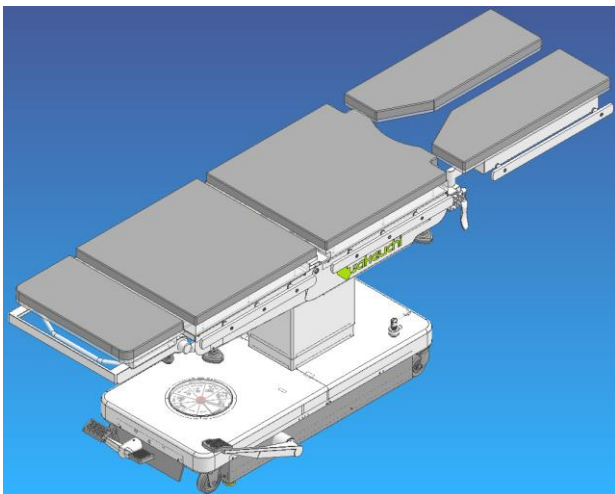


EP用電源部 電動・油圧両用式電源部

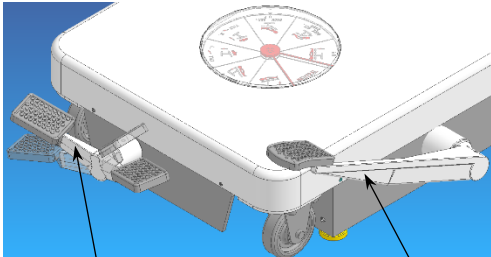


アース端子 電源ランプ 電源スイッチ 電源用コネクター ヒューズホルダー

TS-103MP (油圧マニュアル式)



MP油圧操作部 (セクション切り替え)



セクション切り替えペダル 油圧作動ペダル

2. 質量

250 kg ±60 kg

3. 電氣的定格

定格電源: AC100V・50/60Hz

定格電力入力: 460VA

バッテリー電源: DC24V (バッテリーは二次電池として使用、完全充電後、連続約40分作動可、充電時間12時間以上)

操作電圧: DC12V または DC24V

4. 機器の分類

JIS T 0601-1 による分類 クラスI 機器 B 形機器

5. 使用環境

室温: 15° ~35° C (常温)

6. 機能 (仕様)

テーブルトップ	幅 450~500×全長 1990mm ±100 mm
昇降範囲	101, 102=645~985 mm ±20 103=670~1010 mm ±20 (特注品として 525~1200 mmまで製造する)
縦転作動範囲	前後 25° ±10°
横転作動範囲	左右 25° ±10°
背板作動範囲	上 60° 下 40° ±10°
足板作動範囲	手動 101=一枚式 上 18° 二段 下 90° 九段 102, 103=二枚式 上 18° 二段 下 90° 九段 開脚 110° (手動)
頭板作動範囲	手動 上 2 段 45° 下 4 段 90°
油圧ポンプ	電動ギヤーポンプ一般市販品
重量	手術台合計 約 190 kg~250 kg (約)
油タンク	1リットル
使用オイル	ハイドロリック OIL 46#
使用電源	商用電源 AC100~240V フリー電源
バッテリー式	DC24V 二次電池として使用 充電電圧 AC100~240V
電氣的定格	460VA
操作電圧	DC12V 又は DC24V
自動復帰	オプション 縦転、横転、背板、
リモコン	シートスイッチ 10 秒 OFF
移動固定	手動 ネジ式 (電動油圧式オプション)
キャスター	二輪固定・二輪自在車
X線撮影	101, 102=カセットトンネル無し 103=カセットトンネル付 400 幅

7. 作動原理

①リモコン電動油圧式

本体内部の脚台内に油圧ユニットと電装部品がセットされ、ハンドリモコンの信号で油圧モーターポンプと電磁弁を作動させ昇降、縦転、横転、背板、テーブルトップのスライド、移動固定の各油圧シリンダーにオイルを送り各セクションの体位変換を行うものです。

②フットペダル電動・油圧両用式

脚台内に油圧ユニットと電装部品がセットされ、切り替えペダルでロータリーバルブのセクションを切り替え、作動ペダル操作で電動モーターポンプ又は、プランジャーポンプを作動させ各セクションの油圧シリンダーにオイルを送り体位変換を行うものです。

③フットペダル電動・油圧両用式

脚台内に油圧ユニットがセットされ、切り替えペダルでロータリーバルブのセクションを切り替え、作動ペダルの操作でプランジャーポンプを作動させ各セクションの油圧シリンダーにオイルを送り体位変換を行うものです。

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

一般的な外科手術を目的とする医家向けの手術台です。

2. 効果

1. 万能手術台として一般的な外科手術に使用することができます。
2. 手術の内容に合わせ低コストの基本手術台から機能UPの機種選択ができます。
3. 電動リモコン手術台として操作が簡単にできます。

【使用方法等】

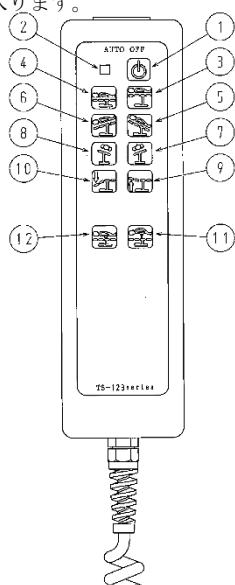
手術台の詳細な操作方法是取扱説明書に記載しています。

1. 電源の入れ方

1. 付属の電源コードを手術台のコンセントにセットし、次に手術室の医療用コンセントに差し込む。
2. 手術台本体の脚台部のメインスイッチを ON にすると手術台本体の電源ランプ緑が点灯し電源が入ります。

2. 操作ボックスの操作

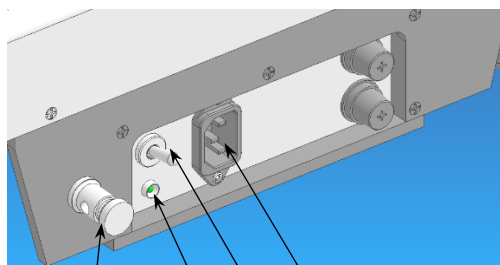
- ① 電源スイッチ
- ② パイロットランプ
- ③ 臥床板の上昇
- ④ 臥床板の下降
- ⑤ 縦転の頭上昇
- ⑥ 縦転の頭下降
- ⑦ 横転の右肩上昇
- ⑧ 横転の右肩下降
- ⑨ 背板の上昇
- ⑩ 背板の下降
- ⑪ 挙上器の上昇（オプション）
- ⑫ 挙上器の下降（オプション）



3. 操作の終了（電源の切り方）

手術台本体の脚台のメインスイッチを切れば、全ての電源が OFF になります、医療コンセントから電源コードを外し操作の終了です。

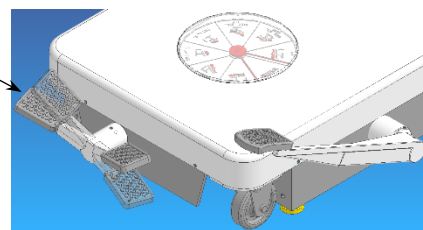
4. 電動・油圧両用式 電源の入れ方



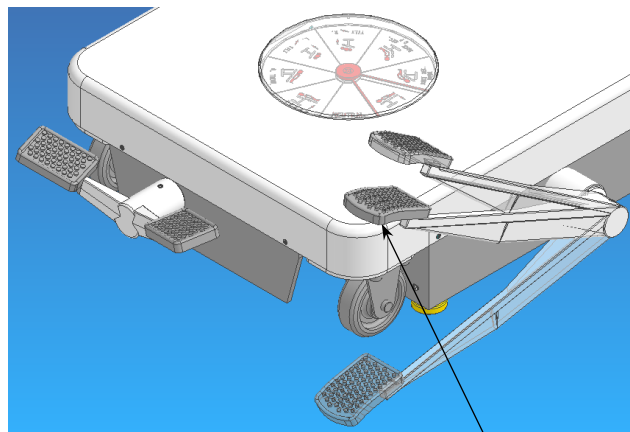
電源用コネクタに付属のコードを接続し電源スイッチを ON にすると電源ランプが点灯し電源が入ります。

5. 油圧切り替えペダル、作動ペダルの操作

切り替えペダル



切り替えペダルの左側を踏むと時計回りに表示板が回り右側を踏むと反時計回りに回ります赤枠の窓に作動させたいセクションを合わせます。



作動ペダルを軽く踏むと電動で作動します（E P）
深く踏み込むと油圧マニュアル作動します。
上にキックアップすると昇降の下降が出来ます。

【使用上の注意】

1. 重大な不具合や事故を防止する注意事項

手術台の機能を越えた使い方は不具合や破損、患者の重篤な健康被害を起こす可能性があります、取り扱い説明書を確認して下さい、購入店、製造メーカーにお問い合わせの上、安全に使用して下さい。

2. 「適用対象（患者）」手術台の臥床面に確実に載せ、患者の手や足が、手術台の駆動部に挟まることの無いようご使用下さい。

3. 「併用医療機器」手術台に装着するアクセサリや併用する機器を使用する時は正しく説明書などに従って使用して下さい。（手術台や併用機器を破損する場合があります。）

4. 「使用方法」 「取り扱い説明書」を参照し適性にご使用下さい。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管場所

JIS T 0601-1 医療電気機器の環境条件による
輸送及び保管以下の条件に耐える環境
周囲温度範囲：10℃～40℃
相対湿度範囲：30%～75%
気圧範囲：700hPa～1060hPa

2. 耐用期間

製造出荷後 10 年：定期的な保守点検を実行する条件
（正常に使用し、定期点検を年間 1 度は行った環境での自社で定める年数。）

【取扱い上の注意】

使用に入る前に「取り扱い説明書」、「使用上の注意」を熟読し製

品の取り扱い方、性能、機能、特性を十分理解してからご使用
ください。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

1. 電源投入確認（取扱い説明書を参照）
始業点検として使用前に以下に支障がないか必ず確認。
①電源コード ②リモコン ③プラグ ④スイッチ
2. 油漏れの有無
床または脚台面に油圧オイルの付着がないか確認。
3. 本体の破損・緩み
①サイドレール ②臥床板 ③頭・脚板 ④マット
4. リモコンでの作動確認
昇降、縦転、横転、背板等が作動するか確認。
（始業点検で異常を確認したら使用を中止し販売店にご連絡
ください。）

2. 業者による保守点検事項

使用状態によりますが手術台の経年劣化に考慮し機器の点検依
頼を計画してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

製造販売業者：株式会社竹内製作所

住 所：〒332-0003

埼玉県川口市東領家4丁目2番12号

TEL 048-222-2663 FAX 048-222-2613

e-mail: info@takeuchi-medical.co.jp

http://www.takeuchi-medical.co.jp

2. 製造業者：株式会社竹内製作所

3. 販売業者（代理店）連絡先